

# たばたあずみ議員の一般質問



たばたあずみ  
550-6674

日本共産党のたばたあずみ議員は9月議会の一般質問で①地上デジタルテレビへの市の取り組みについて②5歳児健診の新設について③難聴者のための磁気ループ設置について質問しました。以下その内容を紹介します。

## 地上デジタル切り替えへ市の支援を

現在あきる野市でも五日市地区の山間部には、共聴アンテナ整備がすすめられ、受信困難の解消がされつつあります。たばた議員は、そのほかの受信困難な地域の支援策はあるか、経済的な支援策はどんなものがあるのか質問しました。市は、牛沼の小松平・雨間グリーンタウン・菅生の一部などの受信困難は、10月1日に開設予定の青梅中継局によって解消される見込みで、もし解消されなくてもきちんとして受信できるように総務省など関係機関と協議する、生活保護世帯には、国からチューナーなどの無償給付が受けられる制度があると答えました。

たばた議員は全国的に83.8%が切り替え済みという総務省の調査に安心せず、市内の現状を調査するよう、また市からも積極的に情報を提供し、市民の相談に乗るよう要望しました。

## 5歳児健診の新設を

現在実施されている3歳までの健診に加えて、アスペルガー症候群や、学習障害(ADHD)などの発達障害発見を目的とした5歳児健診をおこなう自治体が増えていきます。たばた議員は、あきる野市でも実施するよう求めました。市は、現在の1歳6ヶ月児健診・3歳児健診でも発達の遅れを発見し、経過観察や相談などおこなっている、国や東京都医師会でも5歳児健診の必要性を検討しており、市としては今後あきる野市医師会の協力や健診後の相談・支援体制作りなどを含め、研究していると答えました。

小学校入学前に発達障害を見つけて、保護者や幼稚園・保育園などが対応することで、小学校入学時にはま

わりも十分な配慮ができます。本人・保護者・教師・クラスの仲間などすべてにおいてメリットがあることから、他自治体や、東京都医師会が5歳児健診に取り組んでいます。たばた議員は、全員受診方式で5歳児健診を実施するよう要望しました。



けんけん上手にできるかな

## 難聴者のために磁気ループ使って

磁気ループは、補聴器を受信機にして、目的の音だけを聞き取る補聴システムです。たばた議員は、難聴になってもいきいきと暮らすために、磁気ループを市役所や公民館などに設置することを提案しました。市は、すでにふれあいセンターのホール・各会議室に設置してあるが、利用者にお知らせもしていないため、これまでに一度も使われたことがない、貸し出し用の受信機を購入予定で、これからは周知を図ると答えました。

たばた議員は、良さを知ってもらうためにも積極的にお知らせをするよう要望し、映画祭などのイベントに仮設式の磁気ループを使うことや、携帯可能な小さな磁気ループの活用などを提案しました。日本共産党市議団では、受信機が入り次第、ふれあいセンターの磁気ループを見学に行く予定です。



日本共産党台東区議団が作成した携帯用磁気ループシステム

## 聞こえの調査 ぜひ実施して

市民健診や高齢者の健康相談などで、聞こえの相談・検診などが行われているかとのたばた議員の質問には、市は、難聴高齢者に対するサポートは必要だとしながら、市民健診は成人病予防を目的としているので聴力検査は実施していないと答弁しました。

たばた議員は、耳が健康のバロメーターになることを紹介し、成人病予防の観点からも聴力検査を市民健診に復活させることを要望、また難聴がお年寄りを孤立させ、引きこもりや認知症の引き金になることもあることを示し、近く行われる高齢者実態調査に、聞こえに関する調査を入れるよう要望しました。市は、高齢者実態調査については、内容を確認しながら考えていきたいと答えました。